

第 71 回目の GIS News! です



慌ただしい年の瀬、いかがお過ごしでしょうか？例年ですと降雪が見られる時期ですが、わりと温暖な師走を迎えているのではないのでしょうか。今年は全国よりお客様を迎えて「国民文化祭・やまがた」があり、山形県の良さをより多くの方に知っていただいた年となりました。来年は文化だけではなく GIS についても山形から全国に発信出来る年にしたいと思っております。2003 年最後の GISNews となりますが、最後までよろしくお付き合いください。

今年もお世話になりました



当組合において平成 15 年は、GIS (地理情報システム) 活用促進の一年でした。つまり、「GIS とは？」、「GIS で何をしたいか？」、「GIS を利用するとどうなるか？」その為には・・・等々、現在の社会情勢から取り組まなければならない事が明確になった一年でした。自治体の場合は、市町村合併へ向けての協議会の推進、財政難に伴う賃金カット、公的事業の縮小に伴う職員定数の削減など、課題の多い年となかったのではないのでしょうか。しかし、住民レベルから求められていることは、更なるサービスの拡大、住環境の保全、情報の公開 (個人情報に関わらない範囲内) 等があげられます。そこで、自治体の書庫に眠っている資産を GIS で再利用し、今後の住民生活のメンテナンスに利用することが必要不可欠であると考えます。

すでに GIS の位置付けも、業務支援型のスタンドアロンから、庁内統合型を目指した Web-GIS へと大きく変化しつつあります。Web-GIS の利用形態は、庁内の業務支援型と住民サービス型の 2 種類に大別されますが、今後スタンドアロン型を構築する際は、将来の統合型を目指した共用空間データ (道路、家屋、街区等 16 項目) の整備も考えなければなりません。つまり、2重3重の投資を避けるためにも、一度整備されたデータが多方面のシステムで活用できるデータ整備が求められることとなります。更に詳しいことは、県内各地区担当者にお問い合わせ下さい。

本年は「GISNews!」にお付き合いくださいまして、誠に有り難うございました。来年も変わらぬご愛顧の程、よろしくお願い致します。

次回の GIS News!

次回は年明けの 2004 年 1 月 7 日発行予定です。
よろしくおつき合い下さい!

Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 安彦 達見 発行日：2003 年 12 月 22 日

